

令和 6 年度

# 工 事 設 計 書

岩手中部水道企業団

課 長	課長補佐	係 長	設計者	精算者					
着 手 完 了	期 日	自 年 月 日 自 年 月 日 至 令和 7 年 2 月 28 日 至 年 月 日				摘 要	単 独 上段：当初設計 下段：変更設計		
工 期 日 数	日				歩 掛 適 用 : 岩手県令和05年10月下水道歩掛(復興歩掛)				
工 事 番 号	第 号				基礎単価適用 : 令和06年04月01日付 公共 機械損料適用 : 令和05年10月01日付 公共機械損料				
施 工 場 所	岩手中部浄水場				工 種 区 分 : 電気設備 施工地域区分 : 補正なし				
工 事 名	岩手中部浄水場高圧ケーブル予防保全工事				前 金 払 い : 35%を超える場合 冬期労務補正 : % 契約保証補正 : 発注者が金銭的保証を必要とする場合				
設 計 金 額	金 円也								
工 事 概 要	別紙のとおり								



岩手中部浄水場高圧ケーブル予防保全工事

総 括 表

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明 細 単 価 番 号	基 準
工事費	1	式			H00100	
本工事費	1	式			H00200	
電気設備02	1	式			K0003	
合計	1	式			Q00001	

## 本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
電気設備02	1	式			K0003	
【機器費】	1	式			P20000	
機器費(設計技術費対象外)	1	式			P20002	
電気主任技術者立会い	1	式			L0013	
受電盤メーカー立会い	1	式			L0014	
自家発メーカー立会い	1	式			L0015	
【据付工事】	1	式			H61520	
材料費	1	式			H12000	
直接材料費	1	式			H12100	
高圧ケーブル 6KV CV-T38sq	520	m			L0001	
高圧端末処理材 屋内6KV CV-T38sq	2	組			L0003	
電線管 FEP φ80	50	m			L0008	

## 本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号	基 準
ベルマウス FEP φ80用	4	個			L0009	
労務費	1	式			H13000	
電工		人			TR0201	
直接工事費計(据付工事)	1	式			P10000	
共通仮設費計	1	式			H03701	
共通仮設費(率化)	1	式			H61803	
共通仮設費率分	1	式			Q61910	
純工事費	1	式			H61600	
現場管理費	1	式			Q61612	
据付(機器)間接費	1	式			Q61614	
据付工事原価	1	式			H61520	
工事原価	1	式			H61500	

## 本 工 事 費 内 訳 書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明 細 単 価 番 号	基 準
一般管理費等	1	式			Q61521	
工事価格	1	式			H00400	
消費税等相当額	1	式			Q00401	
合計	1	式			Q00402	

## 岩手中部浄水場高圧ケーブル予防保全工事 特記仕様書

### (適用)

第1 この仕様書は、「岩手中部浄水場高圧ケーブル予防保全工事」(以下、工事という)に適用する。

### (目的)

第2 この工事は、岩手中部浄水場において、高圧ケーブルの予防保全のため更新することを目的とする。

### (作業内容)

第3 この工事は、次の内容で行うものとする。

(1) 場所 岩手中部浄水場

(所在地:北上市和賀町煤孫3地割320-6)

(2) 工事内容

- ・自家発～受電盤までの、高圧ケーブルの更新工事。(仮設工事含む)
- ・施工後の通電試験、負荷接続試験、動作シーケンス試験。

### (作業期間)

第4 この工事は、次の日程で行うものとする。

令和6年7月1日から令和7年1月31日まで

### (廃棄物の処理)

第5 当該業務で発生した廃棄物は、請負者の責任において適正に処分し、処分重量を報告すること。

### (安全対策)

第6 作業の安全管理は、請負者の責任において行うものとし、安全作業に障害となる事態が生じた場合は、速やかに監督員に報告すること。

### (工程等の打合せ)

第7 請負者は、工程等を事前に発注者と打合せのうえ、業務を円滑に進めること。

プラント停止等の措置が必要な場合は時間の制限があることから、監督員と十分な打合せを行うこと。

### (完成図書)

第8 提出部数は2部とする。合わせて電子データ(CD-R)も提出のこと。

(その他)

第9 浄水場の電気主任技術者と綿密に連絡をとりあいながら、必要に応じて立会を求めること。施工後、PASを落とし、自動的に起動した自家発電設備からの給電で、浄水場が稼働することを実際に確認すること。その際、電気主任技術者、受電盤製造メーカ及び自家発電設備製造メーカに立会いを求め、動作シーケンスを確認させること。自家発電設備からの給電は、3時間以上実施し、A重油を故意に消費させること。

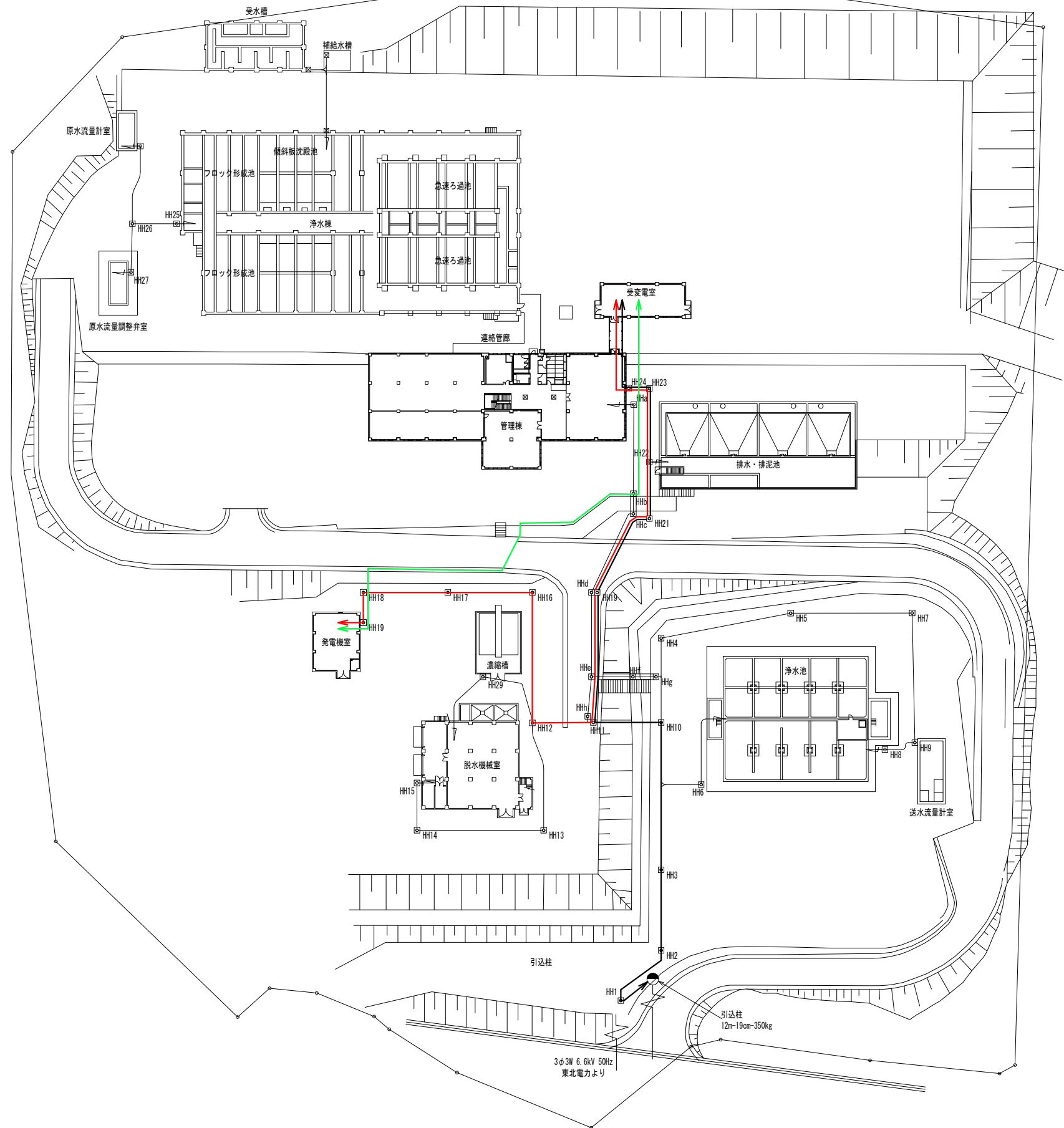
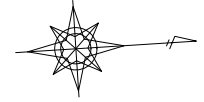
—以上—











着色凡例

- : 受電柱～受電盤
- : 自家発～受電盤 (本設)
- : 自家発～受電盤 (仮設)

ケーブル仕様 : CVT38sq

事業名			
工事名	岩手中部浄水場高圧ケーブル予防保全工事		
図面名称	平面図		
縮尺	1:500 (A1)	図面番号	1
事業者	岩手中部水道企業団		